

令和5年度第2回 東松山市総合計画審議会 会議録

開催日時	令和5年10月6日(金)		開会	14時00分		
			閉会	15時30分		
開催場所	東松山市役所 総合会館3階 303会議室					
会議次第	1 開会 2 発令通知書の交付 3 あいさつ 4 自己紹介 5 会長・副会長の選出 6 議題 (1) 令和5年度3か年実施計画書に基づく事業の進捗状況について ≪子どもの分野・健康福祉の分野・環境の分野≫ 7 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		0人	
審議会委員	委員	飯島 徹	出	委員	須田 知樹	欠
	委員	今村 美代子	出	委員	中嶋 啓一朗	欠
	委員	小野寺 亘	出	委員	中田 幸昌	出
	委員	小峰 良介	出	委員	長島 洋介	出
	委員	椎名 孝典	出	委員	細田 咲江	欠
	委員	島田 政信	欠	委員	佐藤 幸俊	出
	委員	杉山 武志	欠	委員	関根 美沙	出
事務局	政策財政部長 桶谷 易司		政策財政部次長 町田 憲昭			
	政策推進課長 今井 秀典		政策推進課活性化戦略室長 新村 久徳			
	政策推進課主査 江原 友博		政策推進課主事 小池 亮			
	政策推進課主事 嶋岡 佑香					

次 第	顛 末
1 開会	(事務局開会宣言)
2 発令通知書の 交付	(森田市長より委員を代表して飯島委員へ発令通知書を交付)
3 あいさつ	(市長あいさつ)
4 自己紹介	(各委員の自己紹介及び事務局出席者紹介)
5 会長・副会長の 選出	<p>(会長に小野寺委員、副会長に小峰委員を選出)</p> <p>(小野寺会長あいさつ)</p> <p>(小峰副会長あいさつ)</p> <p>(東松山市総合計画審議会条例第5条の規定により、小野寺会長が議事進行)</p> <p>(飯島委員、関根委員を署名委員に指名)</p>
<p>6 議題</p> <p>(1) 令和5年度 3か年実施計画書 に基づく事業の進 捗状況について</p> <p>飯島委員</p> <p>田島次長</p>	<p>《第五次東松山市総合計画後期基本計画・令和5年度3か年 実施計画書(まちづくりの柱1～3)について事務局から説明》</p> <p>【資料】「第五次東松山市総合計画後期基本計画」 「令和5年度3か年実施計画書」</p> <p>《まちづくりの柱1 子どもの分野について質疑応答・意見》</p> <p>(P15) 施策①指標：少年人口1000人当たりの刑法犯少年数 について、現状値の2.3人から毎年0.1人ずつ減らしていく計 画で目標値を設定していますが、令和3年度の実績で0.9人と ごく少数の結果が出ていることから、目標値を修正した方がよい のではないのでしょうか。</p> <p>過去に不良グループによる死亡事件があったことから、警察・地</p>

江原主査	<p>域・行政が一丸となり防犯パトロールや繁華街の見守り等、徹底的に非行防止対策を行ったところ、令和3年度に0.9人という実績に至りました。</p> <p>令和4年度の実績につきましては、警察から数値がまだ示されていないため、現時点では不明です。</p> <p>指標の設定につきましては、計画の最終年度である令和7年度の数値を最終的な目標値としております。刑法犯少年数でいえば、令和7年度に1.8人まで数値を減らすというのが当初計画を策定した際の目標値としていましたが、令和3年度にはすでに目標を達成しています。目標値はそのまま、刑法犯少年数を1.8人にさせないようにしていくというのが今後の動きになってくるかと思われま</p>
飯島委員	<p>行政等が一丸となって取り組んだ結果、現状値の2.3人から0.9人まで人数が減ったことを明記しておいた方がよいのではないのでしょうか。</p>
江原主査	<p>次の計画策定の際に記入できるよう検討してまいります。</p>
関根委員	<p>(P20) 施策④指標：不登校からの復帰割合について、それほど高い数値とは言えず、また、令和4年度の数値が「未」となっていますが、今後新たな対策をしていくなどの考えはあるのでしょうか。</p>
久保田課長	<p>復帰割合について、令和4年度の数値は小学校が43.8%、中学校が21.3%となっております。こういった状態を復帰とみなすかにつきましては、教室に戻るだけでなく、子ども達が社会的自立に向け前を向いて取り組み始めたことを含めています。</p> <p>フリースクールとの連携やオンライン授業など、前を向いていけるよう市としても様々な方策を講じていければと考えております。</p>
佐藤委員	<p>(P14) 施策③：こども家庭センターについて教えてください。</p>
田島次長	<p>今まで別々に行っていた母子保健部門と児童福祉部門について一体的な支援体制を構築することで、妊娠から子育てまで伴走的な支援を行うことを目的とし、令和6年4月1日からの設置を予定しております。</p> <p>具体的には、虐待については子育て支援課、母子保健の健康面に</p>

	<p>については保健センターで行っていた事業を、子育て支援課の虐待部門のグループを保健センターに移すことで、社会福祉士と保健師による切れ目のない母子の支援をしていく組織となります。</p>
佐藤委員	<p>場所はどこに設置する予定ですか。</p>
田島次長	<p>保健センター2階に事務所を設置する予定となっております。</p>
佐藤委員	<p>学校教育について、越谷市の事例で、小学校3年生の児童がシティプロモーション課と共同でまちの魅力に関する副読本を作成しました。子どものうちからまちの魅力を伝えていこうという非常に良い取組が行われていることから、まちの魅力発信の一つの例として研究されてはいかがでしょうか。</p>
久保田課長	<p>市の歴史や現状について、子ども達に伝えきれていない部分があることから今後の参考にさせていただきます。</p>
小峰副会長	<p>(P19) 施策①の指標について、小学校では数値が上がっているのに対して中学校では数値が下がっています。換算値が下がった要因について教えてください。</p>
久保田課長	<p>調査対象となっている学年の特性によって、学力に差があることが要因の一つと考えられます。</p> <p>また、埼玉県が実施している学力状況調査では、学力の伸びが把握できるようになっており、各担任がどのようなことをやっているかと学力の伸びにつながるのかが見えてくることから、担任がやってきた良い取組について学校間で共有しています。今後もこの取組を継続し、全国学力状況調査の数値についても向上を目指したいと考えております。</p>
小峰副会長	<p>全国平均を超すくらいを目指して取り組んでいただければと思います。</p>
	<p>《まちづくりの柱2 健康福祉の分野について質疑応答・意見》</p>
中田委員	<p>(P27) 施策⑤：がん検診受診率について、対象者に社会保険で検診を受けている人も含まれることを考慮すると、数値を上げてい</p>

高荷次長	<p>くのは難しいのではないのでしょうか。</p> <p>また、がんの早期発見に効果的である血液検査について、高齢化により献血ができなくなるなど、検査を受ける機会が減少しています。がん検診の受診勧奨とあわせて血液検査の受検機会の創出についても検討されるとよいのではないのでしょうか。</p> <p>令和3年度はコロナの影響で受診率が低くなっておりましたが、令和4年度には令和3年度と比較して523人受診者数が増加しております。周知については、大腸がんだけでなく肺がんや胃がん等についても併せて受診勧奨を実施しており、引き続き周知を図ります。</p> <p>対象者につきましては、市民全体の人数が母数となっており、この中には社会保険で検診を受けている方や独自で人間ドッグを受けている方も含まれているため、受診率が低い値となっているかと思われます。</p> <p>予防的な血液検査につきましては、医療機関等を受けていただくようアピールしていければと考えております。</p>
中田委員	<p>指標を受診率ではなく、受診者数にした方が昨年度より何人増加しているのかが分かりやすいのではないのでしょうか。</p>
高荷次長	<p>次の計画を策定する際の参考にさせていただきます。</p>
小峰副会長	<p>(P35) 施策①：避難行動要支援者に係る個別避難計画についてどのように作成しているのか教えてください。</p>
高荷次長	<p>要支援者宛てに個別避難計画に関する通知を送付し、支援者の有無等、ご自身の状況を回答いただいています。対象者1510人のうち763人から回答が提出され、約50.5%の計画策定が完了しております。回答が未だない方に対しては、まずはハザードエリア内に居住している方を優先して計画策定が進むよう担当課では取り組んでおります。</p>
小峰副会長	<p>がん検診の指標の意見と同じように、何名の方に対して個別避難計画が完成しているのか具体的な人数を示した方が分かりやすいと思いますので、次回策定する際には検討をお願いします。</p>
佐藤委員	<p>(P39) 施策②：ここプロフェスタについて教えてください。</p>

高荷次長	<p>ここプロフェスタは、シニアの方々の「楽しみたい、働きたい、貢献したい」といった想いを支援する全庁的な取組のことで、令和4年度は市民文化センターで実施しました。令和5年度以降は市内各地区に出向いて行うこととし、今年度は大岡・高坂地区で実施を計画しており、他の地区についても来年度以降順々に回っていく予定となっております。本日午前中には大岡地区でここプロフェスタが行われ、講演会や健康に関するブース等170名を超える方にご参加いただきました。</p>
長島委員	<p>(P39) 施策②：みんなきらめけ！！ハッピー体操について教えてください。</p>
高荷次長	<p>大学の先生に監修していただいた高齢者が簡単に動けるような体操を、ボランティアの方々の協力のもと実施しております。昨年度は1,991回実施し、延べ3万2118人の方にご参加いただいております。</p>
長島委員	<p>ハッピー体操は、体操をすることで健康になった人を増やすというより、シニアボランティアを増やすための事業ということでしょうか。</p>
高荷次長	<p>シニアボランティアとハッピー体操ボランティアは別の事業であり、ハッピー体操は運動し身体を動かすことによって、将来的に要支援・要介護にならない人を増やしていきたいという思いで実施しております。</p>
小野寺会長	<p>最終的に健康寿命を延ばすことが目的ではありますが、指標を立てることが難しいためシニアボランティア登録者数を指標にしているのだと思われます。できる限りアウトカムの指標を見つけるよう努めていただきたいと思います。</p>
	<p>《まちづくりの柱3 環境の分野について質疑応答・意見》</p>
小峰副会長	<p>(P49) 施策②：総合評価Dに対して、来訪者の増加を図るために行っていた出張化石発掘体験が難しいということであれば、それ以外の部分で総合評価を上げていくべきだと考えますがいかがでし</p>

<p>三村次長</p>	<p>ようか。</p> <p>総合評価がDとなっている理由については、都幾川の改修工事に伴い、くらかけ清流の郷全体が一時利用停止となっていることが影響していると考えております。計画では今年度末までが利用停止期間となっており、来年度からリニューアルオープンとなります。過去数回水没していた売店等を高台に移転させる改修も行い、完成後は安定的な運営ができると考えております。今までは11月末までを利用期間としておりましたが、アウトドアの需要が高まっていることから、年間を通じたくらかけ清流の郷の利用を検討しております。</p>
<p>中田委員</p>	<p>今後カーボンニュートラル0（ゼロ）宣言をしていくことになると思われませんが、Co2を排出しないという高いハードルに取り組んでいく中で、官民連携して柔軟に政策を考えていただきたいと思えます。</p>
<p>三村次長</p>	<p>平成24年度からエコタウンプロジェクトを進めており、自然エネルギーの活用等について先進的な取組として埼玉県をリードしてきました。県内では多くの自治体がCo2削減に向けた宣言をしておりますが、当市ではCo2を0にするまでの道筋が明確になっていないことから宣言をしておりません。現状、取組が明確になるまでは宣言しないこととし、民間事業者とともに一歩ずつ着実に進めていきたいと考えております。</p>
<p>飯島委員</p>	<p>（P49）施策②について、くらかけ清流の郷利用者数が指標となっておりますが、これはバーベキュー場利用者のみを対象としたものなのでしょうか。唐子の稲荷橋等、他にもバーベキューを実施できる場所も考えられるため、カヌーや河原付近を散歩する方など他の目的をもってくらかけ清流の郷を訪れる方に着目してもよいのではないのでしょうか。</p>
<p>三村次長</p>	<p>ホテルの里や都幾川沿いの生態系の調査を実施し公表することで、唐子地区も含め市内の自然を楽しんでいただく試みを実施しております。市内各地域の特性を活かした自然に親しむ環境づくりを継続してまいります。</p>

今村委員	<p>《まちづくりの柱1 子どもの分野》</p> <p>(P 1 4) 施策③について、家庭ごとに虐待の基準が異なるため判断は難しいと思いますが、同級生の保護者が虐待に関する情報を持っていることが多いため、保護者から情報提供を収集する仕組みを考えていただきたいと思います。</p>
田島次長	<p>虐待については、学校や保育園等の先生から子育て支援課へ連絡していただいたり、ケガなどが見受けられる場合は直接警察や病院、児童相談所から連絡が来たりする場合があります。また、民生委員や地域の方からも連絡をいただく場合がありますので、今後も虐待防止につながる情報の周知を徹底してまいります。</p>
小野寺会長	<p>ほかにご意見等がないようですので、以上で全ての議題を終了し、議事進行を事務局へお渡しします。円滑な議事進行に御協力いただきありがとうございました。</p>
桶谷部長	<p>(桶谷政策財政部長より御礼のあいさつ)</p>
<b>7 閉会</b>	<p>(事務局閉会宣言)</p>

上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。

令和5年11月 7日 署名委員           関根 美沙          

署名委員           飯島 徹